令和８年度　第６回　豊田市保見地域会議　会議録

開催日時	令和８年９月３０日（水）	開会	閉会
		午後７時００分	午後８時００分
会　　場	保見交流館１階　多目的ホール		
出 席 者	地域会議委員：１４人		
	会長：杉野 秋吉　　副会長：楓原 和子		
	委員：荒川 真司、加藤 康夫、加納 誠、神谷 浩一、 近藤イゴルアキヒト、篠田 岳司、鈴木 照男、藤井 玲子、 藤原 美里、宮川 安弘、八木 宝、山﨑 健司		
欠 席 者	上瀬 靖彦　１名		
傍 聴 者	なし		
事 務 局	猿投支所：天野副支所長、児玉主査監		
	１　豊田市民の誓い ２　会長あいさつ ３　新たな提言に向けた取組について ４　令和８年度の地域課題解決事業について ５　令和９年度の地域課題解決事業について ６　その他		

■議事（要約）

３　新たな提言に向けた取組について

・資料１頁から２～４頁までを事務局から説明

・猿投地区内の他の地域の状況について情報提供。
井郷・猿投台地域：市長に対し提言。石野地域：提言予定。
猿投地域：地域課題を絞り込み中

【グループ協議：地域課題に対する優先順位を考える】

・前回各グループで絞り込んだ地域課題と解決策について、取り組む優先順位およびその理由についてグループワーク。

・各グループからの発表

（大畑小学校区）

優先して取り組む課題：大学等と連携した防災意識の向上

理由：近年災害が多発。有効な予防策の必要性が高まっている。一方で防災倉庫が整備されていない自治区がある。また、自治区や防災担当者によって防災意識に格差があり、有事の際に地区として一定レベルの対応が難しい。

対策：各自治区が同じレベルで防災に取り組めるようにする。
防災士の資格取得等の促進。

自治区ごとの環境整備や人材育成（防災担当者）。
防災リーダーの育成、市・大学等と連携したセミナー等の開催・参加

（伊保小学校区）
優先して取り組む課題：高齢者支援
理由：高齢者が年々増加し、独居も増加している。
対策：保見町で行っている「お助け隊」のような取組を地域全体に拡大して、高齢者の困りごと対応につなげる。

（東西保見小学校区）
優先して取り組む課題：高齢者支援
理由：集合住宅では孤独死案件が発生している。高齢者の状況を知ることが難しい。
対策：高齢者クラブとの連携。敬老の日などのお祝い品を配布する際に、新たな状況確認や住民台帳の更新を行う。
地域包括や民生委員と連携した自治区との情報交換。
「お助け隊」のような取組の実施

・課題の絞り込み
副会長：各グループから意見が出たが、地域会議として今後協議を進めている課題としては、高齢者支援と防災対策に絞っていくということにしたいが、いかがか。
⇒　異見なし。承認

４　令和８年度の地域課題解決事業について、５　令和９年度の地域課題解決事業について
・資料５～６頁により事務局から説明
・アートを活かした保見地区生活環境向上事業
令和８年度事業（ダストボックスへのペイント）の日程決定報告
令和９年度も同様に取り組む予定
・すこやか保見地区つながる健康づくり事業
令和８年度は交流館事業や小学校での授業等、中京大学と連携した事業を展開している。
令和９年度は地域が主体となる自立した取組としていく予定

【質疑応答】
委員：中学生がダストボックスや看板に絵を描いた後、自治区での取組はどのようにするか？

⇒事務局：看板の設置個所を増やしていくなど、地元への広報・理解者を増やしていくように取り組んでいきたい。

委員：ダストボックスへのペイントや啓発看板の作成は中学校の授業の時間のなかで取り組んでいるのか？

⇒事務局：そのとおり。アーティストの指導を得ながら１年生が授業の中で活動している。

委員：健康づくり事業は、各小学校に大学が入って実施しているのか？

⇒事務局：学校の保健委員会の時間を使って実施している。

6　その他

【事務連絡】

次回予定

日　時：令和８年１０月２８日（水）午後７時から

場　所：保見交流館１階多目的ホール

１２月、２月の地域会議は書面開催予定。地域課題が明確になった際には、関連する勉強会開催も検討。